
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 125 号(2023. 5.24)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第125号をお届けします。

第 125 号の目次

1. 活動組織の活動紹介

☆高橋区環境保全隊（兵庫県神崎郡福崎町）☆

障害者福祉施設と連携し特産品を使った「もちむぎボンッ！」を作るなど、農福連携に取り組んでいます！

☆鳥上地区農地・水・環境保全管理協定（島根県奥出雲町）☆

草刈応援隊ピンク（Man グループ）による草刈の支援や「カンナ流し」体験を行っています！

☆手野下地域環境保全組合（大分県国東市）☆

外来生物「ジャンボタニシ」の駆除作業など、他地域の住民も巻き込みながら活動しています！

2. 代表者等へのインタビュー

☆富士環境保全組合（北海道帯広市）☆

令和4年度から取組を始めた組織に、立ち上げのきっかけ、よかった点、苦労している点などを聞きました！

3. 活動組織の広報誌紹介

☆川西資源保全組合（北海道士別市）☆

独自の取組を紹介することで、広報誌が内容の濃い記事になるよう意識する等の工夫をしています！

4. 都道府県の実践事例の紹介

☆農村と企業等のマッチング支援サイト「むらマッチ」をオープン（静岡県）☆

5. インフラメンテナンス大賞へ応募しませんか？

6. 令和5年度 5～7月多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました！

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～^{たかはし}高橋区環境保全隊(兵庫県^{かんざき}神崎郡^{ふくさき}福崎町)～ ■

～ 地区概要 ～

本活動組織は、兵庫県南西部の内陸部に位置し、中山間地域である福崎町高橋区で活動しています。

活動範囲は、田 10.6ha、畑 1.2ha、農道 8.1 km、水路 6.7 km、ため池 3 箇所です。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本組織は、高橋営農組合が中心となり、障害者福祉施設のたかはしサポートセンターや消防団、老人クラブなどと連携し、活動しています。
- ◎ 地域の幼稚園・小学生を受け入れ、芋掘り、田植え、稲刈りなどの体験農園を行っており、農業に関心をもってもらう機会を提供することで将来の後継者となる人材が育つ期待をしています。
- ◎ 障害者福祉施設のたかはしサポートセンターと共同で、特産品を使ったポン菓子「もちむぎポンッ！」を作るなど、6次産業化をはじめ、地域内における清掃活動や花壇の管理など農福連携事業にも精力的に取り組んでいます。
- ◎ 本組織の担い手の高齢化や人手不足、福祉施設の障害者の活躍の場や働く場所が少ないといったお互いの課題に対し、農福連携を図ることで、今後も営農組合の経営安定や福祉施設の安定した雇用・収入に繋げ、将来を見据えた活動展開を考えています。



子供たちによる体験農園



障害者福祉施設と共同で花壇の管理



ポン菓子の袋詰め作業

【高橋区環境保全隊】

編集担当 SDGs コメント

農福連携を図り、営農組合の経営安定や福祉施設の安定した雇用・収入に繋げていることは、目標 8（地域における所得向上や雇用の確保を図る。）、目標 12（持続可能な生産・消費を進める。）に貢献しています。また、消防団、老人クラブ、幼稚園・小学生も活動に参加していることは、目標 16（多様な主体の参画による地域づくりを促進する。）に貢献しています。ますます活動が活性するよう応援しています！



■ 1. 活動組織の活動紹介(2)～^{としかみ}鳥上地区農地・水・環境保全管理協定(鳥根県^{おくいずも}奥出雲町)～

～ 地区概要 ～

本協定が活動する奥出雲町の旧横田町鳥上地区は、鳥取県と広島県との県境の山間地域に位置し、平成19年度から9集落で活動しています。

活動範囲は、田232ha、畑50ha、水路11.9km、農道64.6kmです。

～ 主な取組 ～

- ◎ 高齢化で、畦畔等の草刈が負担になってきていると感じ、何か対策はないかと考え、約1年前に「草刈支援隊（ピンク Man グループ：“ピンクレディー”のように輝く存在でありたいと命名）」を結成しました。現在、グループ員は60～70才代が中心の12人です。今年度から本格的に活動を始めたことから、今後、活動のPRをし、支援隊の人数を増やし、支援できる範囲を広げたいと思います。
- ◎ また、施設の補修等は各集落からの要望を運営委員で優先順位等を整理し、直営施工も行いながら計画的に実施しています。
- ◎ 一方で、次世代を担う子供達へ農業体験を通して、歴史ある鳥上地区の素晴らしさを伝えています。その一つとして、日本刀の材料となる良質な和鉄「玉鋼」の原料である砂鉄を採取する「カナナ流し」体験を、本事業を契機に始めました。※
- ◎ 今後については、工事専門部隊の結成についての検討、資源循環型農業の原点地域の思いから、本事業を活用した関わりができる活動の検討を進めたいと思います。



ピンク Man グループ



ピンク Man グループの活動



直営施工による農道舗装



山肌を削る『カナナ流し』

【鳥上地区農地・水・環境保全管理協定：事務局 田辺幸教、安田充志】

※編集注) 奥出雲町では、たたら製鉄の原料である砂鉄を採取するため、鉄穴流しにより山を切り崩し、採掘のために導いた水路やため池を農業へ再利用、削られて平らになった処に畦畔を築き現在の棚田が形成されました。

この基盤を基に形成された循環型農業について、奥出雲町では日本農業遺産の認定を受けています。

編集担当 SDGs コメント 

「草刈支援隊」の結成や施設の補修は、目標2（持続可能な農業生産を支える。）に貢献しています。子供たちが農業体験を行い、鳥上地区の素晴らしさを知ることは目標11（住み続けられる地域をつくる。）に貢献しています。

「草刈支援隊」の支援の範囲が広がることを期待しています！



etc.

■ 1. 活動組織の活動紹介(3) ～^{てのしも}手野下^{くにさき}地域環境保全組合(大分県 国東市)～■

～ 地区概要 ～

本活動組織は大分県の北東部、大分空港が立地する国東市武蔵町の中山間地域に位置し、田畑 16.2ha、水路 7.4km、農道 2.3kmを保全する約40戸の小規模集落地域です。

～ 主な取組 ～

- ◎ 地域住民のほぼ全員が活動組織に所属し、環境保全のほか、地域コミュニティの維持も目的に、定期的に農用地・水路等の草刈りや土砂上げを実施しています。また、施設の簡易補修は直営施工で行っていますが、高齢化が著しく活動者の確保が最大の課題であることから、他地域の住民も巻き込むなど人員確保に注力しています。
- ◎ 景観形成作物は女性の意見も取り入れながら、クリムゾンクローバーや芝桜、ティフブレア（ムカデ芝の一種）など、後々管理が簡単な植物を選択しています。
- ◎ 毎年、生態系保全を目的に子どもたちや地域外の住民も交え、外来生物「ジャンボタニシ」の駆除作業を行っています。今回、町内で暮らす外国人技能実習生にも参加いただき、国際交流も兼ねた楽しい作業となりました。また春先には絶滅危惧種「オオイタサンショウウオ」を発見するなど、地域住民の環境への関心は高まっています。
- ◎ 近年の農村地域の人口減少に伴う集落機能の低下は著しく、地域コミュニティがかなりの速度で衰退していることは実感しています。しかしながら、「自分たちの地域は自分たちで守る」という基本的な考え方を基に、厳しい潮流に少しでも抗おうと奮闘中です。

【手野下地域環境保全組合 代表 佐木雅幸】

農道 路肩・法面の草刈り



施設の見回り



ティフブレア（芝）植栽



生態系保全活動
(兼地域交流、国際交流)



編集担当 SDGs コメント

外来生物「ジャンボタニシ」の駆除作業は、目標 15（地域における生物多様性を保全する。）に貢献しています。地域外の住民や外国人技能実習生も活動に参加していることは、目標 16（多様な主体の参画による地域づくりを促進する。）に貢献しています。地域資源の保全に地域一体となって取り組む活動を応援しています！



etc.

■2. 代表者等へのインタビュー ～富士環境保全組合(北海道帯広市)～

組織の概要

活動範囲：畑 1,285ha
対象施設：排水路 25.2km、農道 43.8km
活動開始時期：令和4年度



～インタビュー～

富士環境保全組合の藤田代表(○：写真左)と、過去に富士地区の道営事業を担当するなど地域に縁のある北海道農政部の勝海活性化担当課長(●：写真右)との対談形式でインタビューを行った。

●：組織を立ち上げようと思ったきっかけをお聞かせください。

○：富士の地域のみならず、多面の活動に取り組む隣の地域との違いを感じ始めたことがきっかけです。

隣の地域は、明渠の土砂上げや農道の草刈りがされていて、僕らの地域とは景観が全然違っていました。大雨や台風のと看、隣の地域の明渠はスムーズに水が流れるのに、僕らの地域の明渠で水を溜めてしまうような状況でした。

地域として「これはもう多面をやらないといけないな」と感じていた中、帯広市さんからの勧めと、町内会の副会長をしている有城副代表が「町内会の役員を中心として取り組もう」と声をあげてくれたおかげで、組織を立ち上げることができました。

●：隣の地域との差を感じていたとのことですが、今年1年間の活動を通して、明渠の流れ方など地域の変化を実感したことはありますか。

○：明渠の土砂上げによりスムーズに水が流れるようになるなど、異常気象が多いなかでも、地域の環境が良い方向に変わったことをととても実感しています。

●：確かに最近では短時間で大雨が降ったり、強い風が吹いて一晩で明渠が埋まってしまうことが多いと感じています。地域の環境の変化のほか、組織を立ち上げてよかったと思うことはありますか。

○：農家が自分の経営のためにやっている基盤整備はもちろん大事で、個々の畑は良くなってきています。ただ、経営移譲したばかりで手が回っていない農家の明渠が崩れていたときなど「あそこが困っているらしい、直してあげたい」というとき、地域で使える



多面の活動前(上段)後(下段)

お金がありませんでした。僕たちは当初「草刈りの費用が補える」という理由で組織を立ち上げましたが、今年1年間の活動を通して「地域を助けられる組織を立ち上げることができよかった」と思うようになりました。

●：地域の助け合いという視点で多面を有効にご活用いただきありがとうございます。営農をしながらの組織運営は大変かと思えます。苦勞されていることや心がけていることはありますか。

○：組織を運営するにあたっては、地域の要望のとりまとめや外注業者との打合せを有城副代表、会計に係ることを伊勢会計に担当してもらい、3人で役割分担をしています。

今年1年間活動に取り組んだ結果、多面で明渠を直してくれるという認識が地域に浸透しました。明渠が大風により舞った土で埋まった・崩れてきたなどの要望が非常に多く集まり、人との関係は崩さないように公平感を意識しながら実施する順番付けをすることに苦勞しています。みんな自分のところを1番最初にやって欲しいと考えていると思いますが、役員全員で現地を確認して実施する順番を決めることとし、組織として公平であることを心がけています。

また、日当の振込先の聞き取りやそれに係る地域への丁寧な説明など、簡単なことでも初めてだからこそ苦勞したことも多かったです。

大変なことは多いですが、帯広市さんや事務局を担ってくれている土地改良区さんが親身に相談に乗ってくれるので、とても助かっています。

●：1年目は特に試行錯誤もあり大変かと思いますが、関係機関と連携が図られているようで心強いですね。活動を通して今までになかった地域との交流はありますか。

○：農村環境保全活動による花壇の植栽活動により、地域の老人会との交流が増えました。老人会の人たちは経営移譲などにより現役を引退した方・する予定の方が多く、どうしても地域との交流が薄れて見落とされがちになってしまいます。この事業は地域のみinnで作業をす



有城副代表(左)、藤田代表(中央)、伊勢会計(右)



役員による現地確認の様子



老人会による花壇植栽の様子

ることから、そのような人たちのところの明渠の崩れなどの機能不全に気がつくことができました。多面の活動に取り組んでいなければ、別の人が畑を引き継ぐまでその状態を把握できないでいたかもしれません。

- ：地域の施設としてみんなで維持管理していくことができているのですね。今後、力をいれていきたい活動などはありますか。
- ：明渠の土砂上げ、雑木処理、農道の補修など、地域の環境を少しでもよくできるような活動に力をいれていきたいと考えています。

【北海道農政部農村振興局農村設計課】

編集担当 SDGs コメント 

明渠の土砂上げによりスムーズに水が流れるようにすることは、目標2（持続可能な農業生産を支える。）に貢献しています。地域一体となって明渠の保全を行うことは、目標17（地域協働の力により目標を達成する。）に貢献しています。これからも交付金を地域の助け合いのために有効に活用されることを応援しています！



etc.

■3. 活動組織の広報誌紹介 ～川西^{かわにし}資源保全組合(北海道^{しほく}士別市)～■

広報誌・自治会だよりの概要

- 年に1回、活動組織の定期総会時に構成員全員に広報誌「川西資源保全組合通信」を紙媒体で配布しています。
- 地域住民との交流活動や学校教育との連携など、力を入れている取組についての内容を中心に掲載しています。

<ポイント>

1. 独自の取組を中心に内容勝負
 - 独自の取組である学校教育との連携(トヨタ工業学園)などの紹介を通して、構成員に地域が行う活動の良さを再認識してもらえるような、内容の濃い記事になるよう意識しています。
2. 共同活動への参加を呼びかけ
 - 地域の高齢化に伴い課題となっている活動への参加希望について、広報誌を活用して情報提供を呼びかけています。
3. フォントの工夫
 - 注目して欲しいワードはフォントを変えて、一際目立つように工夫しています。

ポイント1 独自の取組を中心に内容勝負!

独自の取組の紹介を通して、構成員に地域が行う活動の良さを再認識してもらえ
ような、内容の濃い記事になるよう意識しています。

川西資源保全組合通信 第5号

「景観形成 啓発・普及」 特集 part II 号

川西資源保全組合は組織結成以来、景観形成・生活環境保全を組織のテーマとして位置づけ、取り組んできました。このテーマの啓発・普及として、当初から「地域住民との交流」として、市民農園に取り組み、最近では「学校教育との連携」として、トヨタ工業学園の異業種体験に協力してきたところ。また今読ま

れている本紙も 多面的機能発揮事業として法制化された年から必須活動項目となり、慣れないながらも毎年発行してきたところです。

この事業に特有の 啓発・普及活動を 前号に引き続き特集したいと思います。

農地・水・環境保全向上対策に初めて取り組むことになった平成20年の3月頃、その準備の会合で 活動計画を策定する中で、生態系保全・水質保全・水田貯留機能増進・資源循環と景観形成の中から、当地区は **景観形成**を組織のテーマとして選択しました。啓発・普及の活動項目として、**地域住民との交流活動**の体験農園(じゃがいもの丘)農園を、実践活動としては、景観形成のための施設への植栽等として 幹線道路沿線の花植栽と 施設等の定期的な巡回点検・清掃として 自治会が行ってきた幹線道路の清掃を計画に組み込み、実施してきたところ。す。

以前からの蓄積もあって、まずまず順調にここまで経過してきました。農業生産に直接関わりのない活動に対し、ご協力いただいた関係者の皆様に感謝いたします。

ここに来て、役員の高齢化と同時進行で、農園参加者も高齢

化し、80歳を超える方もおられ、川西への通勤も徐々に困難になりつつあります。

お知り合いで参加希望の方がいらっしゃいましたら、是非 **情報の提供**をお願いいたします。

次に4年目が無事終えました**学校教育との連携**(トヨタ工業学園 農業体験)にも少しふれておきます。

そもそも現在の市経済部長の井出君が就任した際の懸案事項の一つにトヨタ工業学園 農業体験があり、私の従妹の旦那ということもあり、依頼を受けたところ。当時の自治会・中山間・保全組合の役員さんにご協力をお願いし、何とか実施しました。教職員の皆さんはじめ、学生も非常にまじめに、熱心に農作業に取り組まれ、好評のうちに 4年間 継続してきました。

当初は川西地区のみの受け入れだったのですが、噂を聞きつけ、昨年は 温根別・朝日地区でも受け入れることになり、学生の奪い合いの状態になりつつあります。



さらに今年からはグループ企業のアイシン AW藤高等技能学院118名も来市され、延べ240名余りの学生が、9月の3週間 農業体験が実施されることとなります。

受入れ可能な方は 早めにご連絡ください。

最後に 本紙 **広報紙の発行**は、法制化になった平成27年から 必須の活動項目になりました。実は 不慣れもあって、これが一番大変な作業です。最後まで読破していただき、ありがとうございました。

(kazu)

ポイント2 共同活動への参加を呼びかけ!

地域の高齢化に伴い課題となっている活動への参加希望について、広報誌を活用して情報提供を呼びかけています。

ポイント3 フォントの工夫!

注目して欲しいワードは**フォントを変えて**、一際目立つように工夫しています。

【川西資源保全組合】

■4. 都道府県の取組の紹介

～農村と企業等のマッチング支援サイト「むらマッチ」をオープン(静岡県)～■

～取組概要～

静岡県は新たなビジネスを創造するスキルやアイデアを有する企業、大学等の情報と農村の要望や課題を共有する場となるマッチング支援サイト「むらマッチ」を令和5年4月3日(月)に公開しました。

当該サイトでは、「魅力的な地域資源と合わせて課題を持つ農村」「得意分野・アイデア・ノウハウを持つ企業等」「協働の事例」を探ることができます。『気になる農村、企業等』や、『こんな取り組みが自分たちにも出来ないかな?』を見つけて農村と企業のマッチングができます。

今後、静岡県は具体的なマッチング及び協働活動が促進されていくよう、サイトへ登録している両者の顔合わせや意見交換等の機会を企画していきます。



<https://www.shizuoka-murasapo.net/muramatch/>

「むらマッチサイト」



～主な取組～

◎静岡県では、農山村地域が多くの方々との関係性を拡大し、それぞれの資源や人材、ネットワーク等を活かし、双方にメリットのある協働活動を推進しております。

これまでも、企業等が、社会資本整備の担い手、災害対応など、様々な形での地域貢献をなしているところではありますが、従来の事業領域にとらわれず、成長が見込まれる分野への事業展開も推進しています。



「協働活動のイメージ」

◎農山村地域は、食料生産の場であるだけでなく、水田で雨水を一時的に蓄えて洪水や土砂崩れを防いだり、多様な生き物を育みます。また美しい農山村の風景は、私たちの心を和ませる役割を果たしています。



【地域の課題】

- 人口減少や高齢化、それに伴う農業の担い手不足
- 荒廃農地の増加、祭りなどの伝統文化の継承が困難
- 住民の力だけでは農山村の維持は厳しい状況



水路沿面の協働活動



柵田オーナー制度



伝統行事（「徳山の盆踊」）

【協働活動の推進】

農山村地域と企業等が協働活動を行うことで、地域の活性化や新たな価値の創造につながります。また、協働活動を行うことはSDGs（持続可能な開発目標）の推進にも繋がります。

【協働活動 例】



体験イベントやオーナー制度
に参加・運営



環境保全活動
(ビオトープ作り・生物保全等)



地域の課題解決の検討



景観形成（植栽等）



農地保全活動（草刈り）



活動後、みんなで昼食

【プロジェクト】静岡県では、農山村地域の課題可決に向けて、地域と企業が対等関係でパートナーシップを組み、双方にメリットのある協働活動の実現を目指し、マッチングを行います。

ステップ1
～県に相談～

興味を持たれたら、ご連絡ください。
プロジェクトについてご説明します。

ステップ2
～参加登録・呼びかけ～

協働活動の相手先、農山村地域を見つけるため、
登録票 を使い、参加登録をしていただきます。

ステップ3
～マッチング～

ご希望を伺った上で協働活動の相手先を県が紹介
します。

ステップ4
～顔合わせ・お試体験・
意見交換～

県と一緒に、農山村地域を視察したり意見交換や
お試し体験などでお互いの理解を深めます。

ステップ5
～協働活動スタート～

マッチング後も県は相談役として協働活動を支援
します。

■5. インフラメンテナンス大賞へ応募しませんか？■

農林水産省では、国土交通省等と連携して、インフラの管理、点検や機能診断、補修に対する工夫を行っている取組を「インフラメンテナンス大賞」として募集し、優れた取組を行う事業者、団体、研究者等を表彰しています。

本年度は、令和5年4月25日(火)から6月30日(金)までの間で募集を行い、令和6年1月に表彰式を行う予定です。

今回から、内閣総理大臣賞が新設されました。

皆さんの取組が広く全国に紹介される絶好の機会です。
積極的な応募をお願いします。

詳しくはこちらをご覧ください。

プレスリリース

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/sekkei/230425.html>

インフラメンテナンス大賞の詳細な内容や過去の受賞履歴（国土交通省）

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/O3activity/O3_award.html



第7回インフラメンテナンス大賞ポスター

【農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室】

■6. 令和5年度 5～7月多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました！■

多面的機能支払交付金の情報発信として、本交付金に関する各地のイベントの日程などをまとめたイベントカレンダーを作成しました。より本交付金を学びたい方や他組織の活動の様子を参考にさせていただくなど、多くの方に活用していただきたいです！本メルマガ掲載時より、イベントの情報が更新される可能性があるため、詳細は問い合わせ先までご確認ください。

月	日	曜	都道府県	イベント名（主催者）	備考	問い合わせ先
7月	7日 10日	金 月	北海道	令和5年度農村振興パネル展 （北海道農政課農村振興局農村設計課）	・多面的機能支払制度のPR （PRパネル展やDVD上映による活動事例の紹介、パンフレットの配布等）	・問合せ先 北海道農政課農村振興局農村設計課 （011-204-5399）
	中旬		兵庫県	草刈りフィールドラボ現地研修会 （兵庫県、兵庫県多面的機能支払推進協議会）	・リモコン式草刈り機など省力化技術の啓発	・問合せ先 078-362-3431 ・協議会HPに掲載予定

■ 編集後記 ■

読者のみなさま、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。ゴールデンウィークはどのように過ごされましたか？私は神奈川県江の島に遊びに行きました。人はとても多かったです、広大な海に癒されました。また、江の島はしらすが有名で、しらす丼はとても美味しかったです！楽しいゴールデンウィークを過ごすことができました。

いつもメールマガジンを読んでいただきありがとうございます。朝晩は肌寒い日が続きますが、皆様どうぞご自愛ください。

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：細川、渡邊）
TEL：03-3502-8111（内線 5493）